

サン・シールド株式会社のSDGsの取組

取材
企業名

サン・シールド株式会社

高校名

愛知県立南陽高等学校

<企業概要>

- ・1987年に設立された、安城市を中心に建物や道路、橋などの工事を行っている会社。下水道や護岸工事、小学校の改修など地域の暮らしに関わるものもつづけている。
- ・シールド工法という特殊な技術で地下にトンネルをつくる業務に力を入れてきた。



<サン・シールドのSDGsの取組>

【先端技術の活用】

- ・VR（仮想現実）やAR（拡張現実）といった先端技術の活用を進めている。
- ・VRを使うことで、現地まで行かなくてもいろいろな現場を体験できる。また、ARを使うことで、クレーン作業のシミュレーションができ、クレーンの操作に慣れることができる。
- ・こうした技術により、いつでも、だれでも業務の知識を身に付けられるようになることで、人手不足や熟練技術者の減少など将来的な課題を解決したいと考えている。

【多様性のある職場づくり】

- ・性別や国籍、年齢に関わらず、誰もが働ける会社を目指している。
- ・工事現場では、ミャンマー人やベトナム人が活躍！

【健康経営】

- ・会社全体で残業しない日や禁煙する日を決めたり、体にやさしいにんじんジュースを社員に配ったりするなど、社員みんなが健康に働けるようにしている。



<SDGsの取組を始めたきっかけ>

- ・社長さんが、同業者の人から「これからはSDGsに取り組まないといけないから調べてごらん」と言われて、SDGsの存在を知った。
- ・ネットを見ながら勉強したり、金融機関の人やすでに取り組んでいる人から教えてもらったりしながら、SDGsについての知識を深めるとともに、自分の会社でできることを実践してきた。



<SDGs達成に向けた課題や展望>

- ・SDGsについて理解して、取り組むことができる社員をもっと増やして、SDGsの取組を会社全体に広げられるようにしたい。
- ・太陽光パネルのリサイクル（今は土に埋めているらしい）や、遠心分離やふるいの力を使って掘った泥や土を減らす取組など、環境保全に更に力を入れていきたい。
- ・現場で使ってる発電機について、ガソリンを使わないようにしたり、騒音が発生しないようにしたりするなど、環境負荷を減らしていけないかと考えている。



<訪問取材の感想>

- ・先端技術による効率化が進められていたり、外国人が活躍していたりと、建設業の現場が変わってきていることを知ることができて勉強になりました。
- ・自分たちの仕事を通じて地域に貢献することと、少しでも環境にやさしい工法を考えるなど日々の仕事に問題意識を持って改善することはどんな仕事でも大事なことだと感じました。
- ・実際に工事現場の見学をさせてもらって、普段見れないところまで見るのができたし、貴重なお話も聞けて楽しかったです。ありがとうございました。

<企業から高校生へのメッセージ>

当社は企業活動を通じてSDGsに取り組んでおります。

公共性の高い工事の施工が多い中「人の暮らしを豊かにする」「安心で安全なまちづくり」に社員がベストを尽くせるように心がけています。

会社や工場、工事現場の見学、当社の取り組みを知ってもらうためのXR（VRやAR）、推進工事（地下にトンネルを非開削で作る工事方法のひとつ）の運転シミュレータの体験も用意しています。